

さおりのひとこと



ブログで活動を報告

向こう三軒両どなり

昨年は、3つの大きな災害があり、大規模停電という災害にも初めて直面しました。情報伝達の乏しさが露呈し、市原市全域で大混乱が起き、情報がなくことへのストレスを改めて感じました。SNSなどが普及し、顔が見えなくても表面上のコミュニケーションは図れる時代の中で、それを絶たれた時に立ち返るのは、やはり「向こう三軒両隣」だったのではないのでしょうか。お隣さん同士声を掛け合っ、復旧を目指す姿に、私は市原市民の底力を感じました。

最近の子ども達は、ネット上の繋がりも、顔が見える友達と同じように連帯し繋がりを感じると思いますが、顔が見える関係性の大切さを今一度家族で考えていきたいものです。

市民ネットワークは、市民の声を市政に生かしていくため、今年も皆さんと共に活動を続けてまいります。強くしてしなやかなネットワークを作るため、ご協力をお願いいたします。



いちはら市民ネットワーク代表 守田さおり

市民ネットのお知らせ

市民ネット事務所で開催  
連絡先 0436-21-1907

- 暮らしなんでも相談  
毎月 第4月曜日 10:00~16:30
- 相続手続き・相続税申告・遺言信託・後見についての相談  
毎月第3金曜日 15:00~16:30  
税理士法人が対応いたします。  
初回30分のみ無料で相談(要予約)
- おしゃべり介護喫茶  
毎月第4金曜日 13:30 オープン  
店主 喜多庸子さん(介護歴21年)  
予定 2/28 3/27 4/24
- アートギャラリー  
2月 布遊び  
和風小物雑貨の展示・販売  
3月 ハンドメイド作品  
オンリーワンで小さな幸せ  
4月 ToyToy コレクション  
おもちゃと漫画の世界

講演会のお知らせ

●「いっしょに考えよう 使い捨てプラスチック」

今日からできること  
プラスチックごみを減らすために  
日時：3月28日(土)13:00~15:00  
場所：市民会館3F 大会議室  
資料代：500円  
主催：プラスチック問題を考える会

●「檻の中のライオン」

憲法を変える？  
ホントの憲法の役割を考える

日時：5月17日(日)13:30~  
講師：椋(はんどう)大樹さん  
※詳しいことはお問い合わせください。

★不用のパソコン

携帯電話などを回収します

市民ネット事務所にお持ちください。トレス環境システム会社が引き取ります。IT機器内の情報はきちんと処理いたします。

(消去証明書希望の場合は1500円)

◇市民ネットワークの会員になりませんか。

年4回の通信をお送りいたします。

年会費 2000円  
会費振り込み先 いちはら市民ネットワーク  
郵便振込口座 00130-3-575259  
ゆうちょ銀行 店番058 普 2941343

「おしゃべり介護喫茶」

市民ネットの事務所で第4金曜日に開催しています

私、家に帰ります



喜多庸子さん(介護歴21年)

母の「久子さん」は認知症がますます進み、10年も我が家で暮らしているが夕方になると「私、家に帰ります」が始まる。近くに家を建てたと言う。「お金どうしたの?」「わかんない」「家を建てるには2千万円は必要だよ」と脅かすつもりで言うと、次の日、なんと「2千万円で買った家なの」とすっかり私の言葉を取り込んでいる。もちろん住所も答えられず「場所は電車通りにある中学校の校門の中」と、ますますおかしな事を真顔で言う。「寒いから今日はここで泊ったら」と言う。「そうね」と答えるが、次の日「私、家に帰ります」が始まる。

デイサービスでも「よう子ちゃんの家で御飯を食べて家に帰る」と言うらしい。母の電車通りにある2千万円の家は、本人の中で確実に存在するらしい。「帰る!」を繰り返されると「そんなに帰りたいなら、その家に帰ってみなさい!」と言ってやりたいが、グツとガマン。「千葉には路面電車は走ってないよ!」と言うと「信じてくれない!」と泣き出す始末。私が現実の話をする度に、母の幻の家が確かなものになっていく不思議。こんな時どう対処したら良いのか、と夫と二人で立ち往生。

市民ネットワークは小沢みか・森山かおるで構成された会派です



小沢みか

いちはら市民ネットワーク  
市議会レポート



森山かおる

〒290-0073 市原市国分寺台中央7-1-5 C1 発行責任者 小沢みか  
☎:0436-21-1907 Fax:0436-21-9073  
http://ichihara-net.com/

NO. 117  
2020年2月



50年先の市原を考えて



市役所をもう一棟建て替え(3月に決まる?)  
106億円

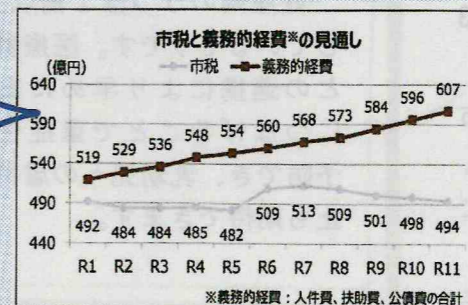
八幡宿西口合同庁舎の計画

約30億円

八幡支所/八幡公民館/青少年会館/武道場/教育センター/青少年指導センター

税金は減り、削れない社会保障費等は年々増大!

このままでは、若い世代は市外へ流出してしまう!



教育や福祉予算が削られる。

借金の財源は? (2019年度会計より)

公共施設整備基金 約20.6億円

財政調整基金 約90.7億円

※災害時の応急的な支出にも対応する

公共施設 建設ラッシュ!  
借金返済ラッシュも始まる

市内の公共施設が老朽化し、建設ラッシュが始まっています。昨年は台風被害により公民館や支所などが大きな被害を受けました。地域の拠点の大切さは増大していますが、そこにお金が回るのか心配です。教育・福祉予算切り捨ても困ります。市民ネットはこれまで議会でも、限りある財源を有効に使い、将来を見据えた施設整備を進めてほしい、と要望してきました。共に考えましょう。



## 12月議会 代表質問



# 小沢みか

地元からも様々な疑問の声が上がっている八幡宿駅西口の公共施設群の統廃合事業と、災害時の高齢者や障害者などの避難体制について議会質問しました。

### ◆ 何が問題か？

#### 八幡宿駅西口の公共施設建て替え計画

計画は、駅西口の老朽化した6施設(1面参照)を統廃合し、八幡運動公園に新築するというものです。見込みでは、約30億円(完成は2025年)です。もちろん老朽化や人口減少への対応は必要です。ただしその際には、社会状況の変化を予測して、駅西口だけではなく市全体を考えて戦略を立てる必要があります。

しかし、教育センターなど八幡よりも本庁舎に移した方がより利便性が高まる機能があっても、部署をまたいだ話し合いは行っていません。地域一帯のまちづくりの視点から「建設候補地を東口にしては」などの住民の意見も取り上げられず、「最初から結論ありきではないか」という声も聞こえています。

八幡運動公園は臨海部に位置し、高潮の恐れもあります。防災拠点として使えなくなる可能性もありますが、昨年の台風被害を経ても再検討する気配がありません。市には、それらを真摯に受け止め慎重に検討するよう求めました。

### ◆ 避難所に行けなかった

#### …「※要配慮者」の避難を考える

※『要配慮者』とは、高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、疾患を持った人、外国人などのうち、市が定める要件(例:要介護 3~5、身体障害者手帳 1~3級)に該当する方々です。

要配慮者のための避難所が『福祉避難所』で、市内では介護施設など30施設が指定されています。その開設には、要配慮者側がまず一般の避難所に避難してから申し出ることが必要です。

昨年、市原市を襲った災害では、延べ約4000名

の市民が避難しました。ところが「申し出がなかったから」という理由で、福祉避難所は1カ所も開設されませんでした。本当にニーズが無かったのでしょうか？

#### 私の指摘

- ① 多くの要配慮者は、福祉避難所の存在すら知らされていなかった。
- ② 一般の避難所では迷惑をかけるのではと、避難しなかった方が多かった。じかに福祉避難所に駆け込めるよう見直しが必要。
- ③ 一般の避難所でも、受付での把握やスペースの確保ができていなかった。

実際に、呼吸器の補助装置を装着したお子さんやパニックを起こしやすい知的障がい児が避難したくてもできませんでした。私たちは、今回の教訓を必ず生かさねばなりません。

#### 子育てニュース

### 産婦健診の助成が始まりました

目安として産後2週間と1カ月後の2回分、各5000円まで。メンタルチェックも受けられます。その後必要な方には保健師が電話や訪問で確認し、産後ケア事業につながります。県内市町村では5番目で、素早い対応は評価できます。

妊産婦のうつは1割以上の高頻度で発症しているそうです。医療機関との連携により早めに支援につなげることで重症化が予防でき、乳幼児への虐待防止も期待できます。



## 12月議会 個別質問

# 森山がおる

ブログで活動を報告

### 市では医療的ケア児者への実態把握さえ進まず

医療的ケアが必要な人は、ほんの一握りにしかすぎません。「それでも少数の声をていねいに拾いあげて伝えたい！」そんな思いで質問しました。



### ◆ 入園・入学さえもかなわず

例えば知的・身体共に発達の遅れはなく昼間は元気に走り回っていますが、呼吸器の疾患があるため夜間だけシーパップ(空気を送り込む装置)を付けていて痰の吸引が必要な子どもがいます。

このような福祉や障がいの範囲におさまらない※医療的ケア児が増えてきたことから、その対応については2016年の法改正で市町村の責務として明記されました。しかし市の園や学校での受け入れは未だに進んでいません。



市では受け入れ体制を整備するために、医療機関との連携、ナースの配置、ガイドラインの策定を協議中とのこと。また民間施設への支援も検討していくようで、ようやく一歩、踏み出したところです。

### ◆ 適切な支援のために

#### 実態把握が必要

9月~10月にかけての台風災害に見舞われた市原市。呼吸器や痰の吸引など電源が必要なケア児者にとって、長期の停電は命に繋がる深刻な問題です。そこでバッテリー充電への対応、家庭用蓄電池や発電機を補助対象に加えるよう要望しました。

しかし、これらの支援以前に重要なのが医療的ケア児者の実態把握です。どんなケアが必要な人が、

どこに何人いるのかが分からなければ、福祉サービスはおろか避難所の受け入れ体制も進みません。各分野で具体的な支援を考えるために、実態把握の調査を求めました。

※医療的ケア児者とは、痰の吸引、胃ろう等からの経管栄養、導尿、人工呼吸器の使用など日常的に医療行為が必要な人たちのことです。

### ◇市原市の子どもの学力は？

毎年、小6・中3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査。国語と算数(数学)それぞれの「知識」と「活用」を問う問題です。

2018年度の調査では、市原市は全てが千葉県平均以下。全国都道府県ランキングに当てはめると、ほとんどが最下位の自治体以下という厳しい結果でした。

子どもの能力を学力だけで判断することはできませんが、基礎学力を身につけさせることは公教育の最低限の務めです。基礎学力向上にむけた取り組みの強化が求められます。



### ◇学校トイレの洋式化、進まず

災害時には避難所にもなる小中学校。トイレの洋式化は42.2%。市は2026年度までに50%を目指しています。さらに前倒しで進める意向ですが、災害時に避難所でトイレを我慢しなくてもすむように洋式化はさらに進めなければなりません。